

ケアマネージャーからの声

- ・自分では分からなかったご本人の可能性を見出せることが出来た。寝室からトイレまで転倒なく移動が出来るように、どうしたら良いのかご本人を含めて専門職間で検討することができ、今後の方向性について決めることができた。
- ・リハビリのみではなく生活改善を含めた支援の必要性について認識することができた。
- ・右足の踵の減りが早く困っていたご本人へ、クッション性のあるインソールを試すよう助言をいただいたことで、解決できた。
- ・リハビリテーション専門職より福祉用具の選定や自宅でできる体操指導を行うことで、住環境や生活スタイルの見直しに繋がった。
- ・ふらつきの原因が不明のため今の状態で転倒せず安全に生活するための方法を検討することが必要ということを理解できた。
- ・歩行状態悪化の原因が、バランス不良によるものだと分かった。また、疾患が要因で引き起こされている可能性が高いことが分かった。疾患からの可能性を探ること、本人の能力の評価方法なども直接学ぶことができた。
- ・足腰の問題もあるが、栄養状態も大切なこと、改善策の検討も必要との助言をいただき、保健師・栄養士の訪問につながった。
- ・ふらついた時に足で踏ん張る力をつけることや居住環境整備の必要性をご本人へ理解してもらうことができた
- ・自主トレを行えば改善の余地はあるとの話からご本人から前向きな言葉が聞けた。